

特集「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する取り組み」 —三陸地域の復興を主な視点に—

研究集会「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する 取り組み」の概要

中村華子*

生態系保全研究部会幹事

研究集会の開催にあたって

生態系保全研究部会では、3学会合同大会・ELR 2012 東京で研究集会を企画するにあたり、2011年に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に関連づけできるテーマで研究集会を行いたいと考え、対応する内容として、環境省で検討されている三陸復興国立公園に関するシンポジウムの開催を検討していた。しかしその後、大会テーマが「災害と自然再生」となり、3学会合同シンポジウムで取り上げる同テーマの課題と重複を避け、地域性種苗の確保に重点を置いた集会所とすることとした。今後、国立公園が整備される課程で地域性種苗のニーズが重要となる可能性があり、そのために有用となる情報提供をしたいと考えた。話題提供には寒冷地もしくは植生自然度の高い地域で「地域性種苗の確保、活用について実践した」事例を選び、3名の方の経験をお話し頂いた。

当日は話題提供でほぼ研究集会の時間を使う、タイトな日程となってしまったが、100名近い方が会場へ足を運んで下さった。討論の時間が少なく、十分に議論を尽くせたとはいえないが、次回以降に向け、さまざまな課題を浮き上がらせることができた。

寒冷地の湿地、自然公園内での種苗確保の取り組み、そして地域性種苗の活用のために必要な環境整備について、考える機会になったと考えている。

1. 研究集会の概要

日 程：2012年9月10日(月) 9:00~10:30

会 場：東京農業大学世田谷キャンパス 1号館 142教室

プログラム：

I. 趣旨説明 中村華子（生態系保全研究部会幹事）

「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する取り組み」～三陸地域の復興を主な視点に～

II. 話題提供

1. 内田泰三（九州産業大学）

寒冷地でのヨシの再生・種苗の生産に関する取り組み

2. 吉原敬嗣（紅大貿易株式会社）

ゴルフ場に残留させた自生個体からの種子採取

3. 福田尚人（岩手大学大学院連合農学研究所）

法面緑化用種苗の現地採取

III. コメント

入山義久（雪印種苗株式会社）、築瀬知史（高速道路総合

技術研究所）

IV. 質疑応答・自由討論

2. 本特集の構成について

標記の研究集会を受けて本特集を構成した。寄せられた原稿は以下の通りである。

1. はじめに 生態系保全研究部会（当時）の今期の活動について
2. 研究集会「生物多様性保全に寄与する地域性種苗の確保に関する取り組み」の概要（本頁）
3. 研究集会の話題提供、コメントおよび質疑応答の内容
4. 話題提供(1) 緑化工を取巻く問題（課題） 内田泰三氏
5. 話題提供(2) ゴルフ場の残置森林に自生する樹木個体からの種子採取 吉原敬嗣氏
6. 話題提供(3) 法面緑化用種苗の現地採取 福田尚人氏
7. 地域性種苗の定着をめざして 中島敦司（生態系保全研究部会 部会長）

*連絡先著者（Corresponding author）：E-mail：hana-n@tkb.att.ne.jp